

このような方に受講をお勧めします

戦略的SCMの構築・改革は、経営的視点を持って、全社的な立場から推進されなければなりません。そのため、**経営トップの理解と優れたプロジェクトリーダーの存在**が不可欠です。情報システムのリーダーがSCMへの造詣を深め、システム構築を進めることも重要です。本コースは、**経営幹部や経営企画部門のスタッフ、全社的情報システムの企画・構築担当者**に適しています。また、**SCMや物流管理の経験を持ち、課題意識のある経営者や中堅幹部、システム部門の方々**に参加いただいて、専門的な知識の習得と実務に即した能力を身につけていただきたいと思います。

第32期戦略的SCMコース 受講説明会のご案内

第32期戦略的SCMコース（2025年10月～2026年3月）の開講に先立ち、コースコーディネーターが本コースの狙いや内容についてご説明します。

また、本コースの修了生の方々をお招きし、受講時の様子や、学んだことの業務への活用などについて、座談会形式でお伝えします。

戦略的SCMコースでは国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者を講師に迎え、国際的な水準を意識したカリキュラム、少人数制による講義とグループ演習によりSCMのプロフェッショナルを育成しています。

本コースの受講をご検討の方はぜひご参加ください。

プログラム

・第32期戦略的SCMコースの説明

説明者：戦略的SCMコース コースコーディネーター

市川 隆一 氏

（株式会社サプライチェーン経営研究所
代表取締役社長）

森川 健 氏

（株式会社森野村総合研究所
アーバンイノベーションコンサルティング部
チーフエキスパート）

・修了生座談会

内 容：受講のきっかけ、受講時の様子、受講を通じて学んだこと 等（予定）

登壇者：戦略的SCMコース 第29期（2024年度春期）修了生

ファシリテーター：コースコーディネーター 市川 隆一 氏、森川 健 氏

・質疑応答

受講説明会は
終了しました。
本コースの詳細は
事務局まで
お問い合わせください。

戦略的
SCMコース
受講申込

本コースにお申し込みいただくには、E-mailにて願書・志望理由書
をご提出いただきます。

お申し込み方法の詳細はホームページの募集要項をご覧ください。

戦略的SCM

検索



〈定員・受講料・開催形式〉

- 定員 30名
- 受講料 220,000円／1名（税込）
（協会会員・会員外共通）
- 開催形式 集合／JILS会議室（東京）
オンライン／Zoom

※諸事情により、開催日程・形式
やカリキュラム内容が変更と
なる場合があります。

集合（東京）
+
オンライン
開催

Strategic SCM Course

戦略的 SCMコース

後援：経済産業省・国土交通省

戦略的視点で学ぶ「最先端のSCM」

32期
2025年秋期

2025年 2026年
10月～3月
〈全20回〉

戦略的SCMコースでは
我が国のSCMを担うプロフェッショナルを育成します

- 国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者による充実した講義
- 戦略的な視点から経営科学的なアプローチも含めた国際的な水準のカリキュラム
- 各期30名の少人数制による密度の高い情報交流とグループディスカッション
- 講師陣、受講者、コースOB・OGによる日本有数のSCM人材ネットワークの形成

公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

コース代表講師ごあいさつ

植物の栽培等、人類の進歩に寄与した24の大発明GPT（汎用技術）の一つに、日本生まれのリーン生産方式（Lean）が挙げられています。これはJIT（ジャストインタイム）と言い換えてもよく、1990年代SCMを誕生させる契機を与えたもので、当初日本のSCMは世界をリードしていたと言えます。ところが、用語としてのSCMが確立されてきた2008年にはじまるSCMの世界ランキング「Supply Chain Top 25」（Gartner社発表）では、今日に至るまで日本企業がランクインしていません。それはなぜでしょうか？

日本企業はアナログの世界での現場の見える化や改善力に強みを持つものの、海外企業はそれを十分学んだ上で、“モノ”から“コト”へのビジネス戦略転換とDX、デジタル化により、サプライチェーン全体の見える化と顧客価値創造で圧倒的勝者となっています。VUCA時代に国の富に直結する生産性革新を取り戻すためには、戦略的SCMのリスクリング、学び直しとそれを活かす生産性の高い職種への流動性を高めることが不可欠です。

本講座は、2010年に東京工業大学（現東京科学大学）を中心にSCMの第一線で活躍されている企業人や教育研究者の議論から立ち上げられ、JILSへ移管後も、環境変化に対応して常に内容をブラッシュアップさせて参りました。これまで業種や専門を超え約770名以上の修了生を輩出し、世界に広がるSSFJ（Strategic Supply Chain Management Forum Japan）のネットワークも本講座の価値を構成する揺るぎない財産です。

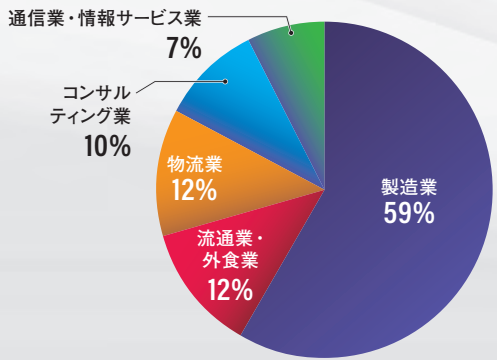
コロナ終息後、sustainability推進の高まりの中でESG（Environment, Society, Governance）重視の流れ、米中摩擦やウクライナ侵攻による混乱とJITの見直し、経済安全保障の促進、さらにトランプ関税など、SCMを巡る相次ぐ環境変化が進行中です。またこれらのリスク対応力を高めるだけでなく、それを超えて成長・進化する反脆弱性（Antifragility）なる概念も登場しています。また国内の物流の世界では、2024年問題を契機に、一定規模以上の事業者に物流統括管理者と呼ぶCLO（Chief Logistics Officer）的役割を担う人材を配置することが義務付けられるようになりました。

こうした変化に対応できかつ価値創造できる人材こそ、日本の産業競争力・労働生産性再生の鍵で、その育成が喫緊の課題です。「顧客価値を見極め、激変する環境下でそれを創造する“コト”をデザインし、パートナーと共創・リードする力」が求められます。講師陣と共に、講義・演習・グループ討論・発表を通してSCM力を磨き、実践力を身に着けようではありませんか。



【コース代表講師】東京科学大学名誉教授 圓川 隆夫

受講者の業種比率（2024年度）



受講者の声

「SCMを志すさまざまな職種の方と、多様な問題意識をぶつけ合い理解を深めることができた」

「全体のプロセスを見て問題を認識することが、解決策を生み出し企業の成功へ導くスタート地点だということを、実務経験豊富な講師の授業とグループ課題演習での議論を通して学びました」

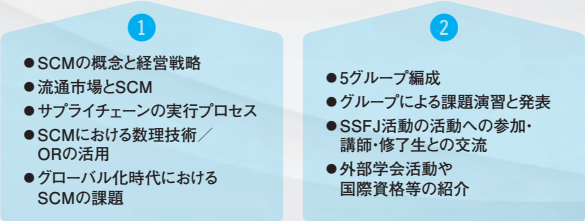
「SCMの推進に関心を持つ講師やクラスのメンバーと交流でき、コース終了後も繋がるきっかけを作れたことは最大の収穫です」

カリキュラムの基本的目標：SCM人材の養成

企業が社会的価値と経済的価値の創出のために、経営理念に基づく具体的な製品やサービスを、需要家に対して提供するための戦略を立案し、実行プロセス全体を企画し、管理し、運営するマネジメントをSCMと考える。

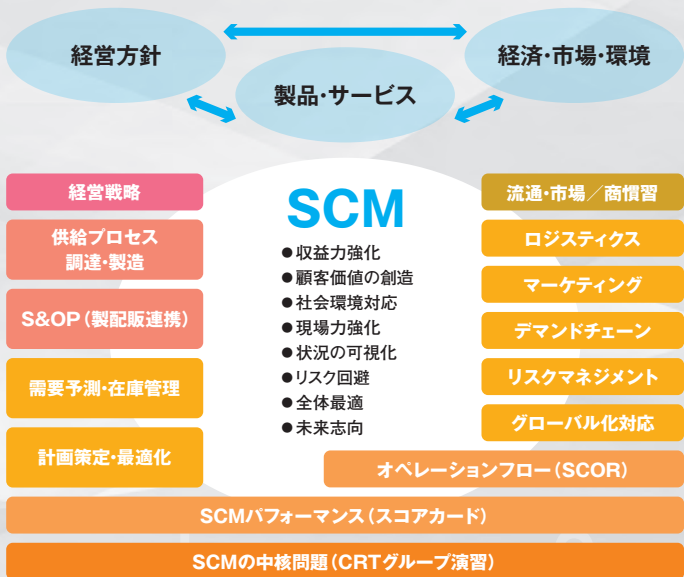
我が国の経営の強みを引き出せる戦略的SCMを実現できる人材の養成

- ① 多様な専門家の講義と演習によるSCMを理解する**基礎知識と鳥瞰的な視座**の獲得
- ② 受講者同士の交流とグループ演習による**多様性の理解と人的ネットワーク構築**



時代の要請に則した柔軟で進取的なカリキュラムと環境の提供

SCMの課題と当スクールの授業科目体系



第32期（2025年度 秋期）ストラテジックSCMコース カリキュラム

講義（20回） 金曜日 19:00～21:00 課題研究発表会・修了行事 2026年3月14日（土） 10:30～17:30

形式 集合：日本ロジスティクスシステム協会会議室（東京）での実施／オンライン：Zoom による実施

日程	形式	回	内容	講師	所属・役職
10/3	集合	①	オリエンテーション／SCMの全体像と授業科目	市川 隆一	㈱サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長

〈SCMの概念と経営戦略〉					
10/10	オンライン	②	SCMと経営そしてサステナビリティ	圓川 隆夫	東京科学大学 名誉教授
10/17	オンライン	③	SCMとオペレーションズマネジメント	圓川 隆夫	東京科学大学 名誉教授
10/24	集合	④	グローバル戦略とビジネス・ロジスティクスの新たな方向性について	橋本 雅隆	明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 専任教授
10/31	集合	⑤	サプライチェーンの複雑性と企業間協働の効果：SCM ゲームの体験を通して	河合 亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授
11/7	集合	⑥	SCM実現を阻む根底問題を探る～CRTを用いたグループワーク演習その1～	鈴木 定省	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授

〈流通市場とSCM〉					
11/14	集合	⑦	消費財流通のチャネル戦略とSCM	市川 隆一	㈱サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長
11/21	オンライン	⑧	マーケティングとSCM	中村 潤	中央大学 国際経営学部 教授 合同会社Space4Labo アドバイザー
11/28	集合	⑨	ロジスティクスマネジメントとSCM部門の役割	荒木 協和	神戸大学大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー
12/5	集合	⑩	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ	森川 健	㈱野村総合研究所 チーフエキスパート
12/12	集合	⑪	価値共創社会への変化対応とサプライチェーンの革新～SCM/DCM連携～	碓井 誠	オピニオン 代表

〈サプライチェーンの実行プロセス〉					
1/9	集合	⑫	SCM性能の見える化～CRTを用いたグループワーク演習その2～	鈴木 定省	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授
1/16	オンライン	⑬	調達を中心としたサプライチェーン経営戦略と組織能力	垣見 祐二	スリーゼットコンサルティング 代表 和歌山大学 経済学研究科 客員教授
1/23	集合	⑭	サプライチェーンプロセスモデル（SCOR）～業務の可視化・分析・改革のイネーブラー～	丹治 秀明	㈱日立ソリューションズ東日本 主任技師
1/30	集合	⑮	S&OPの基本と実践～「組織の壁」を乗り越える～	行本 顕	Operations Management Group LLC. 代表社員 ASCM認定インストラクター

〈SCMにおける数理技術／ORの活用〉					
2/6	集合	⑯	SCMにおける需要予測・MRP・在庫最適化	野本 真輔	㈱構造計画研究所 製造DX技術担当
2/13	集合	⑰	SCMのDX化と改善事例	野本 真輔	㈱構造計画研究所 製造DX技術担当
2/20	オンライン	⑱	SCMにおけるAI・ORの活用～科学的手法を経営に生かす～	伊倉 義郎	㈱サイテック・ジャパン 代表取締役社長 東京科学大学 講師
2/27	集合	⑲	AI・ORを使った最適化モデルと企業戦略への活用	伊倉 義郎	㈱サイテック・ジャパン 代表取締役社長 東京科学大学 講師

〈総括〉					
3/6	集合	⑳	総論：経営戦略とSCM、SCM改革のためのチェンジマネジメント	藤野 直明	㈱野村総合研究所 未来創発センター シニアチーフストラテジスト

〈課題研究発表会・修了行事〉					
3/14（土）	集合	★	課題研究発表会・修了行事	講師陣	講師陣

※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります
※所属・役職は2025年6月時点のもの